

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートうらそえ			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～	2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		～	2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	情報の行き違いがないよう、情報共有を徹底 学校との連携	・保護者や学校からの連絡を受け取ったら、 共有の情報ツールにて報告している ・送迎時に学校での様子を聞き取り、困り事がある場合は、対 応の仕方を提案したり、先生とのコミュニケーションを大事に している	・事業所内でも職員同士で声かけしあい、全職員で良い雰囲気 作りを意識する ・継続して、コミュニケーションを大事にしなが、支援に つなげていく
2	個々の特性や好みに合わせた個別訓練	活動時間外の自由時間に個々に合わせた「プリント学習や指先 訓練・パズル」などを行っている。	集中できる環境を提供できるようにする
3	送迎時間などの臨機応変の対応	保護者様の都合にできるだけ合わせ応じている。	スケジュール調整が全職員ができるよう把握していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動が予定通りにいかないときの対応	当日欠席などによる、利用者または職員の減少で活動変更にな る場合の案がでない。	・事業所内会議にて、活動案の勉強会などを行い、全職員が 色々なアイデアが出せるよう意識改革する ・個々の特性を把握しいろんな経験ができるようにする
2	発達特性・各児童への支援方法の統一	各児童の支援方法にバラツキがでてしまう。	見える化で支援方法の書類を作成し、朝の会議時に当日利用 児童の支援方法の読み合わせを行う
3			